

2022年7月1日

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、取締役会の実効性を高め、一層の機能強化を図ることを目指し、2016年度より取締役会全体の実効性に関する評価を行っております。今般、2021年度の評価を行いましたので、その結果の概要をお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

取締役会の実効性に関する質問票を、監査等委員を含むすべての取締役に配布し、匿名での回答を得ました。回答内容に基づき、評価責任者(取締役会事務局責任役員)と全回答者が個別インタビューを実施の上、当社取締役会は取締役会の実効性に関する分析および評価を行いました。

対象者：取締役会出席者全員 (10名)

回答者：取締役会出席者全員 (うち社外取締役4名)

実施日：2022年3月～5月

質問内容：質問票における大項目は、以下の通りです。

- (1) 取締役会の構成
- (2) 取締役会の運営
- (3) 取締役会の議題
- (4) 取締役会を支える体制
- (5) 株主・ステークホルダーへの対応

その他：2021年度は、昨年実施した実効性評価で出された各役員の見解を踏まえた課題に対する対応策の実施状況を確認致しました。

なお、2018年6月からは監査等委員会設置会社に機関設計を変更しており、監査等委員会の実効性も併せて評価しております。

2. 取締役会の実効性に関する分析および評価の結果

2021年度は、全てのカテゴリーで改善が見られる評価結果となりました。総合評価インタビューでも全役員より、取締役会の開催方法やペーパーレス化、議案配信のタイミングなどに改善が見られ、実効性については年々改善されているとの意見が多く見られました。

これら自己評価結果の分析を踏まえて討議した結果、当社取締役会は「取締役会の実効性は有効に機能している」と結論づけました。

3. 取締役会の実効性に関する評価結果を踏まえた今後の取組みについて

昨年に続き、各取締役から寄せられた改善すべき点についての年間改善計画を立て、今年度も改善に取組み、当社取締役会の実効性を更に高めるとともに、一層充実したコーポレート・ガバナンス体制を構築してまいります。

以上